

## 第45期 中間事業報告書

平成15年1月1日 ▶ 平成15年6月30日



## 経営理念

### 『さわやかさ創造企業』

近畿コカ・コーラボトリンググループは、  
人々のうるおいと豊かさにつながる機会を創造します。

人々の期待感や先進感にこたえます。

人々の健康な生活に貢献します。

## ビジョン2005

私たち近畿コカ・コーラボトリンググループは、

1本1本の製品を業界No.1のオペレーションで提供し、  
より多くのお客様にさわやかなひとときをお届けします。

お客様を、お客様満足を実現するパートナーとして  
大切にし、共に成長します。

ひとりひとりがお客様満足を常に追求し、  
やりがいと誇りをもって自己の役割と目標を完遂します。

日々の健全な企業活動を通じ、毎年、増益を達成します。

●最新の情報はこちらでごらんいただけます。

ホームページアドレス

<http://www.kinki.ccbc.co.jp>



## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお喜び申しあげます。

当上半期の清涼飲料業界は、深刻な雇用環境や所得の減少を背景とした個人消費の冷え込みにより、販売数量が伸び悩む中、企業間競争の熾烈化による価格の低下や、販売チャネルの変化などによる収益低下により、厳しい市場環境となりました。

当社は、こうした状況下、「中期経営計画」の見直しを行い、シェアと利益の両立から、当面、より利益を重視する計画とするとともに、新たに、2005年（平成17年）のあるべき姿として、お客様満足の実現が会社の成長・発展に繋がるという考え方を基本とした「ビジョン2005」を策定し、業績の向上と企業価値の創造を目指しました。

下半期につきましても、依然として厳しい経営環境が続くものと予測されますが、当社におきましては、「中期経営計画」の達成に向けて、更なる販売力の強化と構造改革を展開するとともに、全国規模のSCMの確立をはじめとしたコカ・コーラシステム内各社との協働を推進する一方、「ビジョン2005」の浸透を図り、お客様の期待に応える活動を通じてお客様満足を実現することにより、業績の向上と企業価値の創造に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申しあげます。

平成15年9月



取締役社長

守 郁 正 和

# 営業の概要

販売面におきましては、営業組織を販売チャネルに則して4部門に再編し、選択と集中によって明確な部門別戦略を構築することにより、販売力の強化と収益の改善を目指しました。また、「No Reason Coca-Cola」キャンペーンの新展開や、「ジョージア明日があるさ2」キャンペーンをスタートさせたほか、コカ・コーラのブランドイメージをより新しく、より強力なものにするニ

ューロゴマークを導入するなど、ブランド力の強化を図りました。さらに、新製品として、「まる茶120」「ボコ」「バニラコカ・コーラ」などを発売し、販売の拡大に努めました。

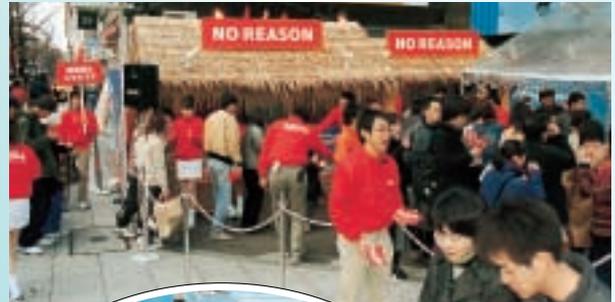
製品の需給面におきましては、4月には、コカ・コーラシステム内各社と共に、全国規模のサプライチェーンマネジメント(SCM)の確立を目指す新会社「コカ・コーラナショナルビバレッジ株式会社」を共同設立



「Shop NO REASON」  
特別デザイン  
コカ・コーラ  
400mlボトル缶



## Shop NO REASON



サンプリング風景  
(大阪・心斎橋  
スパニッシュ広場)



し、ポトラーの枠を越えた需給の最適化に向けて取り組みました。また、6月には、西日本ポトラー5社の共同出資によるミネラルウォーター製造会社「大山ビバレッジ株式会社」が稼動しました。

一方、経営環境の変化に伴う構造改革につきましては、引き続き当社グループ全体で推進し、経営の効率化を図りました。4月には、当社およびグループ会社の経営基

盤の強化を目指し、グループ会社への出向者65名の転籍を実施しました。また、経営参加している「三笠コカ・コーラボトリング株式会社」との戦略協調として、同社滋賀工場の製造業務および一部地域の自動販売機オペレーション業務を、3月以降順次、同社から受託し、当社と一体化した運営を行うことにより、両社の効率化を図りました。



Enjoy SUMMER 2003

明日があるさ2



## 三笠コカ・コーラボトリング株式会社との戦略協調始まる

### 1. 製造部門における戦略協調

当社の100%出資子会社である近畿コカ・コーラプロダクツ株式会社は、三笠社より同社滋賀工場の製造委託を受け、2003年3月1日よりPET製品ラインでの製造を開始、また、6月1日よりレトルト缶製品ラインを含めた全面運営を開始しました。

今回の製造受託は、製造における戦略協調の一環であり、製造面での両社の効率化を図ります。



三笠コカ・コーラ  
ボトリング株式会社  
滋賀工場

### 2. 自動販売機のオペレーションにおける戦略協調

当社の100%出資子会社である関西ビバレッジサービス株式会社は、三笠社より委託を受け、2003年6月1日より自動販売機のオペレーションに関わる業務の運営を開始しました。今回は、自動販売機のオペレーションにおける戦略協調の一環として、将来の全拠点受託のためのテスト受託と位置付け、三笠社の3営業所(大津営業所、奈良営業所、和歌山南営業所)における自動販売機のオペレーション運営を開始し、同業務における両社の効率化を図ります。

## 「森の水だより」 大山ビバレッジ株式会社稼働

西日本ボトラー5社(近畿/コカ・コーラウエストジャパン/中京/南九州/四国)の共同出資による、ミネラルウォーター「森の水だより」製造会社「大山ビバレッジ株式会社」が、稼働しました。



大山ビバレッジ株式会社  
大山工場



コンベアライン



## 第3回世界水フォーラム「水のEXPO」に出展

コカ・コーラグループでは、2003年3月18日より22日までインテックス大阪で開催された「第3回世界水フォーラム『水のEXPO』」の「水とくらし」エリアに展示ブースを出展。

「いっしょにできることがある」をテーマに、企業市民活動と環境への取り組みを紹介しました。



ブース外観

受付前のにぎわい

---

## コカ・コーラナショナルビバレッジ株式会社を設立

ボトラーの枠を越えた、調達から製造・物流に至るまでの全国規模で最適なサプライチェーンマネジメント(SCM)を構築すべく、2003年4月1日に設立されたコカ・コーラナショナルビバレッジ株式会社は、現在、沖縄コカ・コーラボトリング株式会社を除く全ボトラーが参画して準備が進められています。

全国SCM構築により、全国レベルの生産・投資計画の効率化を図ると同時にリスクの軽減もできるようになり、全国の消費者および顧客が求める商品をより柔軟な体制で製造し、迅速に届けることができるようになります。

# 新製品



## Qoo ホワイト ヨーグルト風味

280g缶、500mlペット、  
1.5Lペット

ヨーグルト風味で飲みやすく、すっきりとした喉ごしの乳性飲料。  
カルシウムと共に、「カルテイク」を配合し、子供の体にも良い元気飲料です。



## ファンタ すもも

350ml缶、500mlペット、  
1.5Lペット

すっきり炭酸ファンタから、夏ならで  
はのフルーツ「すもも」が新登場！  
甘酸っぱくて、爽やかな美味しさが  
夏にぴったりです。



## バニラ コカ・コーラ

350ml缶、  
500mlボトル缶

アメリカでセールス増大に貢献したバニラ コカ・  
コーラがついに日本上陸。コカ・コーラとバニラの  
新しいおいしさが楽しめるコカ・コーラ独自の新  
フレーバーです。



## Qoo ウキウキキウイ

500mlペット、1.5Lペット

夏場に向け、みんながウキウキする気持  
ちを表現した、期間限定フレーバー。  
夏の乾いた喉にすっきりおいしい家族み  
んなで楽しめる果汁飲料です。



## ジョージア アイスカフェバニラ

190g缶

コーヒーショップなどで馴染みのフレーバー  
コーヒーが手軽に味わえる缶コーヒー。  
バニラの風味を生かしたコーヒーを、夏向けに  
後味さっぱりと仕上げました。



## アクエリアス スマートレモン

500mlペット、2.0Lペット

ライトスポーツまたはビギナーのためのスポ  
ーツドリンク。ビタミンCが強化され、女性に  
もうれしいローカロリー設計です。



# プロモーション



## コカ・コーラ サマープロモーション

(賞品) Aコース: Colemanアウトドアセット  
Bコース: ソニー「サイバースhotsU®」  
Cコース: BMWマウンテンバイク  
Jコース: オリジナル「キャスト限定缶」shop型BOX入り  
(応募方法) 対象製品についている応募シールまたは応募チップを集めて応募  
(実施期間) 2003年7月1日～9月13日

## コカ・コーラ 小型パッケージプロモーション (eプロモーション)

(応募方法) [インスタントウイン] 対象製品についている、2重シールに記載されているWebにアクセスし、14桁のシリアルNo.を入力すると、その場で抽選、当たりがわかる。さらに、ゲームにチャレンジした人全員にデジタルプレミアムをプレゼント。  
[クローズド] インスタントウインで抽選にはずれた人にもう一度チャンス。Web上の「マイページ」にポイントを貯めて、必要ポイント数が貯まったら抽選。  
(実施期間) 2003年3月1日9時～6月22日21時



## コカ・コーラ「ディズニーパークリングフェスタ」プロモーション

(応募方法) [クローズド懸賞方式] 対象製品についている応募マークを規定の枚数集めて、郵送・応募  
(実施期間) 2003年3月1日～5月31日  
[マイレージ方式] 対象製品についている応募マークを規定の枚数集めて、郵送・応募  
(実施期間) 2003年3月1日～9月13日

## コカ・コーラ ジャンプフェスタフィギュアコレクション

(対象店)  
CVS、  
スーパー中心

(実施期間)  
2003年5月12日  
～約2週間



## コカ・コーラ ドラゴンボールフィギュアコレクション

(対象店)  
CVS、  
スーパー中心

(実施期間)  
2003年7月21日  
～約2週間



# グループ業績の推移

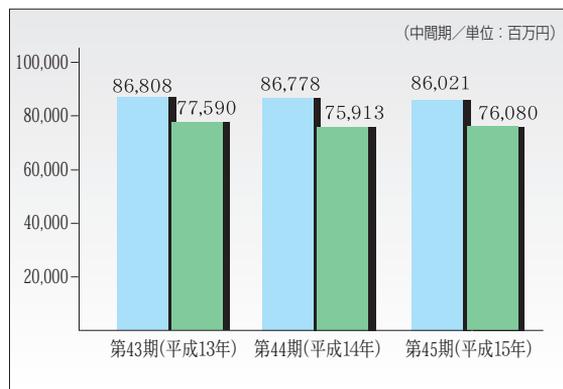
近畿コカ・コーラボトリンググループは、当社を中核として連結子会社10社、持分法適用会社2社によって構成されています。当中間期の連結売上高は、860億2千1百万円(前年同期比0.9%減)となりました。経常利益は16億6千4百万円(前年同期比

21.8%減)、純損失は4億2千9百万円となりました。

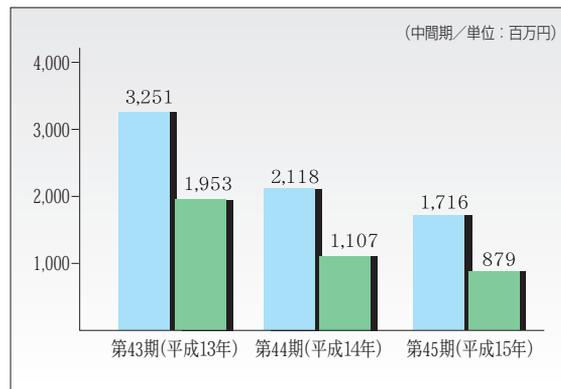
(連結子会社) 関西ビバレッジサービス株式会社、株式会社ネスコ、近畿コカ・コーラボトリング株式会社、関西ロジスティクス株式会社、株式会社レックスエステート、株式会社レックスリース、株式会社セイコーコーポレートジャパン、株式会社カディアック、株式会社シーアンドシー、株式会社秋吉システムズ  
(持分法適用会社) 三笠コカ・コーラボトリング株式会社、大山ビバレッジ株式会社

## 業績の推移

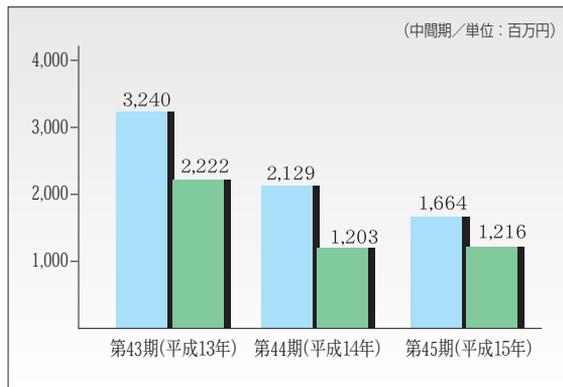
売上高 (■ 連結 ■ 単体)



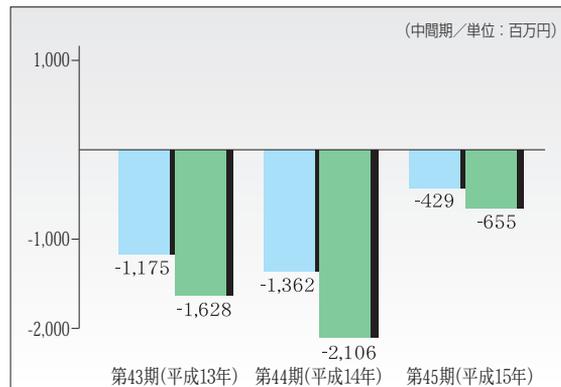
営業利益 (■ 連結 ■ 単体)



経常利益 (■ 連結 ■ 単体)



純利益または純損失 (■ 連結 ■ 単体)



# グループ会社レポート

## REX 株式会社レックスリース

### オートリースおよび保険代理業

企業を中心にトータルサービスを提供。リース事業の一環として、これまでのノウハウを生かし、日常生活を楽しく演出し、子供たちの送迎時間を特別なものにするキャラクターバスを広めています。

幼児用通園バス  
びよん太くん  
兵庫県三田市内



幼児用通園バス  
かめちゃん号  
兵庫県三田市内

幼児用通園バス  
ぽっぽくん  
愛知県岡崎市



オリジナル  
送迎バス  
タイプ-1  
兵庫県和田山市内

## &C 株式会社シーアンドシー

### 食品の販売、飲食店の経営

食品の卸し販売、飲食店の経営など幅広い事業を展開。約20,000種類の全国こだわり食品の販売他、手作りのフルーツ・シャーベット「アンジュ・ド・バージュ」を製造販売し、好評いただいています。



フルーツ・シャーベット「アンジュ・ド・バージュ」



## 関西ロジスティクス株式会社

### 清涼飲料水の運送事業

荷崩れ防止に使用していたストレッチフィルムの使用削減を図るため、繰り返し使用でき環境負荷の軽減となるeKO<sup>※</sup>バンドの考案と、エコドライブ推進により、「豊かな環境づくり大阪府民会議」主催の『おおさか環境賞奨励賞』を受賞しました。

※ eKOシステム(コカ・コーラ環境マネジメントシステム)



装着例



eKOバンド

### 環境理念

近畿コカ・コーラボトリンググループは、「さわやかさ創造企業」として、「地球環境の保全」を最重要課題のひとつと認識し、持続可能な社会の構築に向けて、継続的に環境保全活動を推進していきます。



2003年版  
環境報告書

私たちは、地域の人々に理解と信頼をもって受け入れられる、良き企業市民でありたいと願っています。そのため地域との積極的なコミュニケーションを図り、環境保全活動の質の向上に役立てようとしています。1994年に「環境パンフレット」を制作したのをはじめ、2001年からは毎年「環境報告書」を制作し、2003年より環境会計等の情報も開示しています。

### 環境教育ビデオの制作・貸出 ●●●

社内外への空容器リサイクルの啓発を目的に、当社空容器リサイクル等の取り組みを紹介するビデオ「Earth Friendly」を制作しました。新入社員「岡村さやか」とかわいい木のキャラクター「エコじろう」が空容器を中心とした環境問題に取り組んでいきます。



環境教育  
ビデオ



ビデオの中では、自動販売機には必ず「自動販売機3点セット」(①自動販売機統一ステッカー、②統一美化マーク、③空容器回収ボックス)を設置・貼付するように指導しています。



自動販売機3点セット

### コカ・コーラ環境教育財団 ●●●

企業市民として地域社会に貢献するという企業理念を实践することを目的に、コカ・コーラグループが1994年に設立。青少年の環境活動に熱心なボランティア団体を支援し、環境教育の助成に努めています。

## 環境イベントへの参加・支援 ●●●

行政、市民団体、ボランティアなどが主催する地域の環境イベントなどへの様々な協力を行っています。展示会での出展では空容器リサイクル等の啓発をパネルで訴求、フォーラム等では空容器リサイクルの取り組みをプレゼンテーションで紹介、また清掃活動イベントでは参加者への製品提供、環境教育イベントではクイズ大会の景品提供、一般参加型の環境イベントでは社内告知により社員ボランティアの参加など幅広い活動を展開しています。



## 環境美化活動 ●●●

アドプト・ロード・市場

1996年より、社員による本社周辺の清掃活動としてスタートした「本社周辺エコ・クリーン活動」は、2002年11月に大阪府、摂津市と当社の三者がアドプト・ロード・プログラムとしての協定を結び、大阪府より「アドプト・ロード・市場」の認証を受けました。



# 中間連結決算レポート

## 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

期別 科目	当中間期 (平成15年6月30日現在)	前中間期 (平成14年6月30日現在)	前期 (平成14年12月31日現在)	期別 科目	当中間期 (平成15年6月30日現在)	前中間期 (平成14年6月30日現在)	前期 (平成14年12月31日現在)
<b>流動資産</b>	<b>34,062</b>	<b>38,772</b>	<b>33,148</b>	<b>流動負債</b>	<b>26,844</b>	<b>19,267</b>	<b>26,338</b>
現金及び預金	5,353	8,977	8,436	支払手形及び買掛金	8,526	8,549	7,622
受取手形・売掛金	12,190	12,609	11,116	短期借入金	1,806	2,136	2,157
有価証券	—	1,599	1,599	1年以内に償還の転換社債	8,167	—	8,167
たな卸資産	9,926	9,642	7,858	未払金	3,066	4,196	3,266
その他	6,591	5,942	4,137	未払法人税等	259	230	450
				その他	5,018	4,154	4,676
<b>固定資産</b>	<b>86,198</b>	<b>81,135</b>	<b>86,369</b>	<b>固定負債</b>	<b>11,527</b>	<b>18,490</b>	<b>10,245</b>
有形固定資産	66,368	65,977	66,583	転換社債	—	8,167	—
建物及び構築物	15,291	16,441	15,993	長期借入金	3,347	2,948	2,983
機械装置及び運搬具	10,912	12,356	11,849	退職給付引当金	6,325	5,227	5,394
販売機器	14,562	13,986	13,077	その他	1,854	2,146	1,867
土地	20,214	18,235	20,378	<b>負債合計</b>	<b>38,371</b>	<b>37,757</b>	<b>36,584</b>
その他	5,387	4,956	5,284	少数株主持分	58	49	55
無形固定資産	5,134	5,210	5,054	資本金	—	10,948	10,948
投資その他の資産	14,696	9,948	14,731	資本準備金	—	10,040	10,040
				連結剰余金	—	60,993	61,954
				その他有価証券評価差額金	—	129	△ 41
				自己株式	—	△ 9	△ 23
				<b>資本合計</b>	<b>—</b>	<b>82,101</b>	<b>82,877</b>
				資本金	10,948	—	—
				資本剰余金	10,040	—	—
				利益剰余金	60,860	—	—
				その他有価証券評価差額金	7	—	—
				自己株式	△ 25	—	—
				<b>資本合計</b>	<b>81,830</b>	<b>—</b>	<b>—</b>
<b>資産合計</b>	<b>120,260</b>	<b>119,908</b>	<b>119,517</b>	負債・少数株主持分及び資本合計	120,260	119,908	119,517

(注) (平成15年6月中間期)  
 1. 有形固定資産の減価償却累計額 97,886百万円  
 2. 保証債務 305百万円  
 3. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

(平成14年6月中間期)  
 97,886百万円  
 315百万円

(平成14年12月期)  
 100,951百万円  
 307百万円

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当中間期	前中間期	前 期
		(平成15年1月1日から 平成15年6月30日まで)	(平成14年1月1日から 平成14年6月30日まで)	(平成14年1月1日から 平成14年12月31日まで)
売上高		86,021	86,778	183,349
売上原価		45,929	44,950	97,577
売上総利益		40,091	41,827	85,772
販売費及び一般管理費		38,375	39,709	80,303
営業利益		1,716	2,118	5,469
営業外収益		160	288	576
営業外費用		212	277	570
経常利益		1,664	2,129	5,475
特別利益		305	355	1,812
特別損失		2,773	5,079	7,218
税金等調整前中間純損失(△) 又は当期純利益	△	802	2,594	69
法人税、住民税及び事業税		249	297	751
法人税等調整額	△	627	1,538	△ 861
少数株主利益(△)		4	9	18
中間純損失(△)又は当期純利益	△	429	1,362	161

## 中間連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当中間期	前中間期	前 期
		(平成15年1月1日から 平成15年6月30日まで)	(平成14年1月1日から 平成14年6月30日まで)	(平成14年1月1日から 平成14年12月31日まで)
連結剰余金期首残高		—	63,070	63,070
連結剰余金減少高		—	—	—
配当金	—	563	1,126	—
役員賞与	—	150	713	150
中間純損失(△)又は当期純利益	—	—	△1,362	161
連結剰余金中間期末(期末)残高		—	60,993	61,954
(資本剰余金の部)				
資本剰余金期首残高		—	—	—
資本準備金期首残高	10,040	10,040	—	—
資本剰余金中間期末残高		10,040	—	—
(利益剰余金の部)				
利益剰余金期首残高		—	—	—
連結剰余金期首残高	61,954	61,954	—	—
利益剰余金減少高		—	—	—
中間純損失	429	—	—	—
配当金	563	—	—	—
役員賞与	101	1,093	—	—
利益剰余金中間期末残高		60,860	—	—

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当中間期	前中間期	前 期
		(平成15年1月1日から 平成15年6月30日まで)	(平成14年1月1日から 平成14年6月30日まで)	(平成14年1月1日から 平成14年12月31日まで)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		3,146	538	16,176
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△	7,276	△ 4,741	△ 20,055
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△	552	△ 953	△ 1,478
IV. 現金及び現金同等物の減少額	△	4,683	△ 5,156	△ 5,357
V. 現金及び現金同等物の期首残高		9,986	15,343	15,343
VI. 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高		5,303	10,186	9,986

(注) 1. 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高と中間(期末)連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

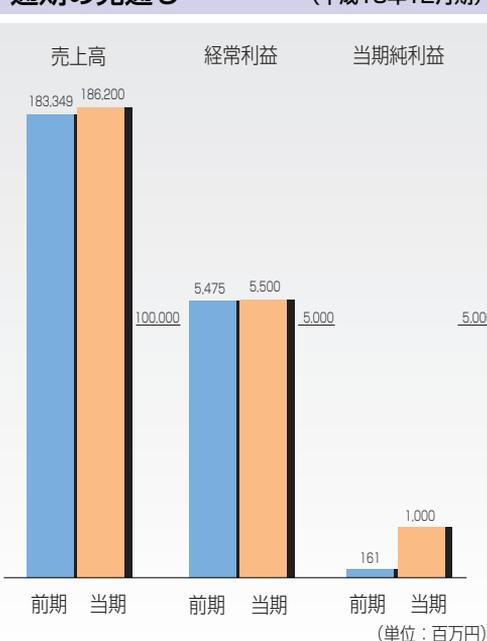
科目	当中間期	前中間期	前 期
	(平成15年6月中間期)	(平成14年6月中間期)	(平成14年12月期)
現金及び預金勘定	5,353	8,977	8,436
有価証券勘定	—	1,599	1,599
計	5,353	10,576	10,036
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△ 50	△ 390	△ 50
現金及び現金同等物	5,303	10,186	9,986

2. 中間連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

中間連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する定期性預金及び満期日又は償還日等の定めのない容易に換金可能であり、かつ、価値変動について僅少なりリスクしか負わない短期的な投資であります。

## 通期の見通し

(平成15年12月期)



# 中間単体決算レポート

## 中間貸借対照表

(単位：百万円)

期別 科目	当中間期 (平成15年6月30日現在)	前中間期 (平成14年6月30日現在)	前期 (平成14年12月31日現在)	期別 科目	当中間期 (平成15年6月30日現在)	前中間期 (平成14年6月30日現在)	前期 (平成14年12月31日現在)
<b>流動資産</b>	<b>31,636</b>	<b>35,718</b>	<b>29,999</b>	<b>流動負債</b>	<b>22,309</b>	<b>13,743</b>	<b>20,591</b>
現金及び預金	4,066	7,354	6,263	買掛金	4,972	5,141	4,243
受取手形・売掛金	11,534	12,031	10,452	一年以内に償還の転換社債	8,167	—	8,167
有価証券	—	1,599	1,599	未払金	2,756	3,751	2,707
たな卸資産	8,899	8,664	6,871	未払法人税等	15	4	211
その他	7,135	6,069	4,813	その他	6,399	4,845	5,261
<b>固定資産</b>	<b>77,283</b>	<b>72,392</b>	<b>77,569</b>	<b>固定負債</b>	<b>6,893</b>	<b>14,413</b>	<b>6,032</b>
有形固定資産	54,441	54,233	54,609	転換社債	—	8,167	—
建物	11,801	12,712	12,333	退職給付引当金	5,823	4,824	4,943
機械及び装置	8,958	10,232	9,774	その他	1,069	1,422	1,089
販売機器	14,290	13,676	12,815	<b>負債合計</b>	<b>29,203</b>	<b>28,156</b>	<b>26,624</b>
土地	17,454	15,529	17,618	資本金	—	10,948	10,948
その他	1,936	2,081	2,067	法定準備金	—	11,658	11,658
無形固定資産	2,516	2,030	2,171	その他の剰余金	—	57,233	58,403
投資その他の資産	20,324	16,128	20,788	その他有価証券評価差額金	—	122	△ 41
投資有価証券	1,325	1,595	1,334	自己株式	—	△ 9	△ 23
関係会社株式	7,870	3,663	7,826	<b>資本合計</b>	<b>—</b>	<b>79,953</b>	<b>80,944</b>
長期貸付金	4,590	4,778	5,118	資本金	10,948	—	—
その他	6,538	6,091	6,508	資本剰余金	10,040	—	—
				利益剰余金	58,752	—	—
				その他有価証券評価差額金	1	—	—
				自己株式	△ 25	—	—
				<b>資本合計</b>	<b>79,716</b>	<b>—</b>	<b>—</b>
<b>資産合計</b>	<b>108,919</b>	<b>108,110</b>	<b>107,569</b>	<b>負債・資本合計</b>	<b>108,919</b>	<b>108,110</b>	<b>107,569</b>

(注)  
 1. 有形固定資産の減価償却累計額 (平成15年6月中間期) 83,671百万円  
 2. 保証債務 36百万円  
 3. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

(平成14年6月中間期)  
 83,424百万円  
 44百万円

(平成14年12月期)  
 86,203百万円  
 39百万円

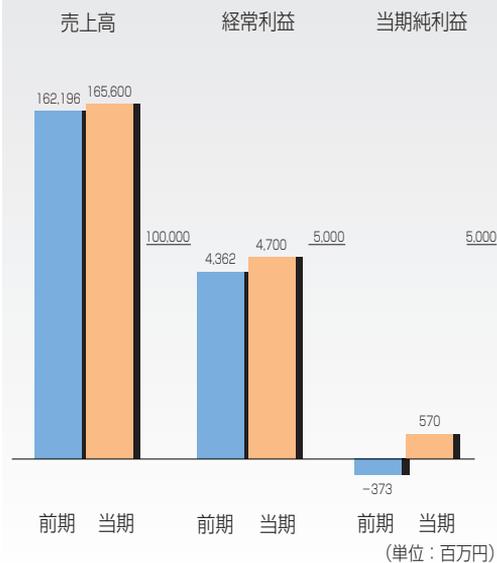
## 中間損益計算書

(単位：百万円)

期別 科目	当中間期 (平成15年1月1日から 平成15年6月30日まで)	前中間期 (平成14年1月1日から 平成14年6月30日まで)	前期 (平成14年1月1日から 平成14年12月31日まで)
売上高	76,080	75,913	162,196
売上原価	42,475	41,070	89,885
売上総利益	33,604	34,843	72,310
販売費及び一般管理費	32,725	33,735	68,197
営業利益	879	1,107	4,113
営業外収益	529	307	693
営業外費用	193	211	444
経常利益	1,216	1,203	4,362
特別利益	305	340	2,268
特別損失	2,720	5,064	7,166
税引前中間(当期) 純損失(△)	△ 1,199	△ 3,520	△ 536
法人税、住民税及び事業税	15	20	329
法人税等調整額	△ 558	△ 1,434	△ 491
中間(当期)純損失(△)	△ 655	△ 2,106	△ 373
前期繰越利益	1,316	1,293	1,293
中間配当額	—	—	563
中間(当期)未処分利益 又は未処理損失(△)	660	△ 812	356

## 通期の見通し

(平成15年12月期)



## 配当金

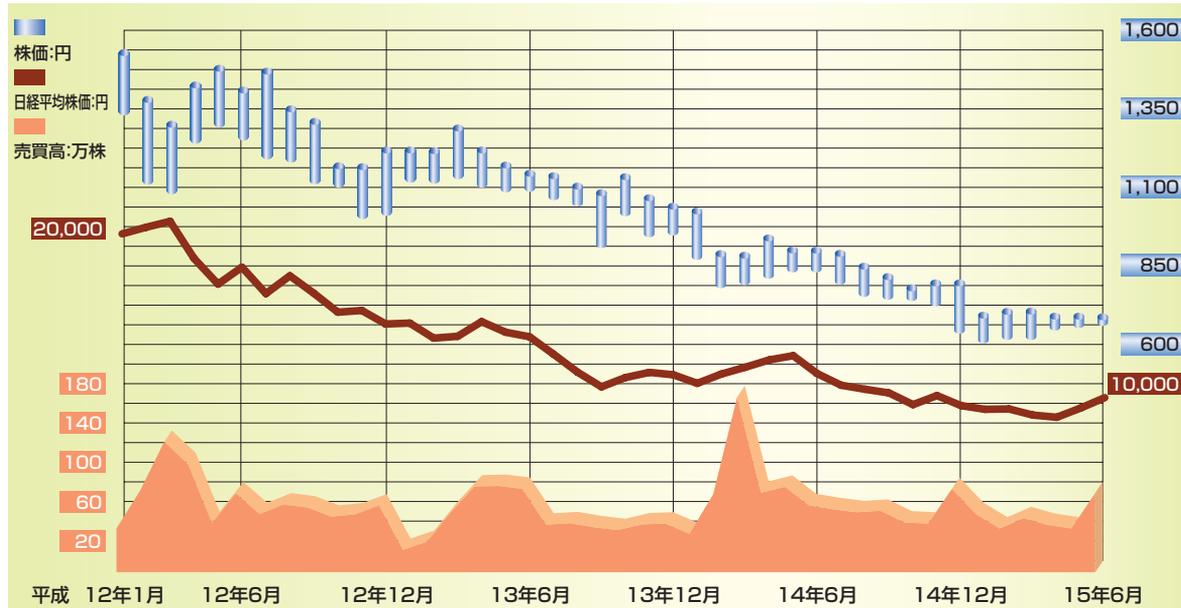
中間配当金は1株につき9円とさせていただきます。

また、期末配当金は1株につき9円とし、中間配当金と合わせて**年18円の配当を予定**しています。

# 株式の状況

(平成15年6月30日現在)

株 価：大阪証券取引所  
 株 価：日経平均株価  
 売 買 高：大阪証券取引所・東京証券取引所立会内取引合計



## 株式の総数・株主数

- 会社が発行する株式の総数 ----- 150,000,000株
- 発行済株式総数 ----- 62,591,049株
- 株主数 ----- 5,578名

大株主	株 主 名	持株数(千株)	議決権比率(%)
	麒麟麦酒株式会社	25,779	41.43
	三菱重工業株式会社	8,674	13.94
	近畿コカ・コーラボトリング社員持株会	1,710	2.75
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	1,311	2.11
	年金信託受託者三井アセット信託銀行株式会社 2口	1,058	1.70
	神大和株式会社	1,050	1.69
	日本トラスティサービス信託銀行株式会社信託口	823	1.32
	野村證券株式会社	814	1.31
	株式会社弥谷	675	1.08
	投資信託受託者三井アセット信託銀行株式会社	572	0.92

# 会社の概況

(平成15年6月30日現在)

## 1. 商号 近畿コカ・コーラ ボトリング株式会社 7. 事業所

KINKI COCA-COLA BOTTLING CO., LTD.

## 2. 設立 昭和35年9月9日

3. 本店所在地 大阪府摂津市千里丘7丁目9番31号  
電話(06)6330-2222(代表)

4. 資本金 10,948,108,301円

5. 主要な事業内容 大阪府、兵庫県および京都府を販売地域として、清涼飲料の製造および販売を主な事業内容としております。

6. 従業員数 1,567名(出向者557名を含みます)

	大阪府	兵庫県	京都府
工場	—	明石工場	京都工場・コーヒー焙煎工場
支店	レギュラーサービス千里丘支店 ほか22支店	レギュラーサービス尼崎支店 ほか15支店	レギュラーサービス中京支店 ほか6支店

(注)明石工場および京都工場は、当社の100%出資子会社近畿コカ・コーラプロダクツ株式会社に貸与し、当社製品ならびに当社がコカ・コーラティープロダクツ株式会社より受託した製品の製造を行っております。

## 役員

(平成15年6月30日現在)

取締役社長(代表取締役)-----	守都正和	取締役-----	吉永豊二郎
取締役副社長-----	中村弘	取締役-----	浪花泰次郎
常務取締役-----	野上秀昭	取締役-----	野口彰
常務取締役-----	秀平俊章	取締役(非常勤)-----	樽谷中
常務取締役-----	西田尚弘	取締役(非常勤)-----	吉澤稔
常務取締役-----	宮崎豊	取締役(非常勤)-----	佐藤安弘
取締役-----	多田喜廣	取締役(非常勤)-----	佃和夫
取締役-----	吉松民雄	常勤監査役-----	柴谷英一
取締役-----	服部寿一	常勤監査役-----	網塚忠優
取締役-----	小楽崎憲之	監査役-----	浅野直道
取締役-----	神田博		



## 株主メモ

決算期	12月31日
株主確定基準日	
・定時株主総会、利益配当金	12月31日
・中間配当金	6月30日
定時株主総会	3月
名義書換代理人	〒100-8212東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒171-8508東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
(電話照会先)	三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話(03)5391-1900(代表)
同取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
1単元の株式の数	1,000株
公告掲載新聞	日本経済新聞 決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書の開示は、当社ホームページに掲載しております。 <a href="http://www.kinki.ccbc.co.jp">http://www.kinki.ccbc.co.jp</a>

### 株主優待

毎年12月31日現在の1,000株以上ご所有の株主さまに対し、3,300円相当の当社製品を4月中旬に贈呈いたします。

### お知らせ

- 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用ください。
- 平成15年4月1日施行の商法改正により「株券失効制度」が導入され、株券を喪失された場合の手続きが、従来の公示催告・除権判決に基づく再発行手続きより簡便となりました。詳細は名義書換代理人にご照会ください。

証券コード 2576